

真田宝物館だより

第25号

六^む連^{れん}銭^{せん}

平成21年3月31日発行

〒381-1231 長野市松代町松代4-1 (真田宝物館)



2段



10段

「貝類及び名所天産物採集品」
(真田宝物館所蔵)

貝類及び名所天産物採集品

— コレクションに見る交流 —

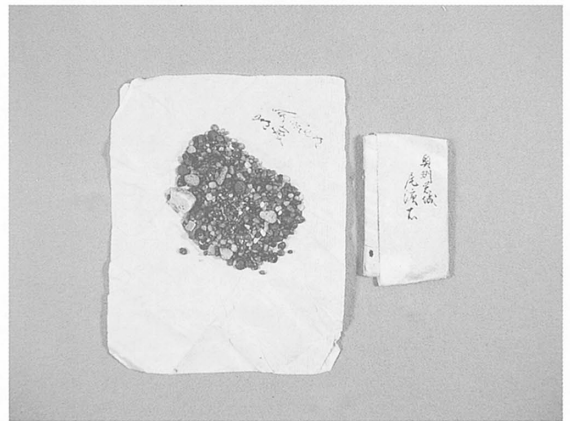
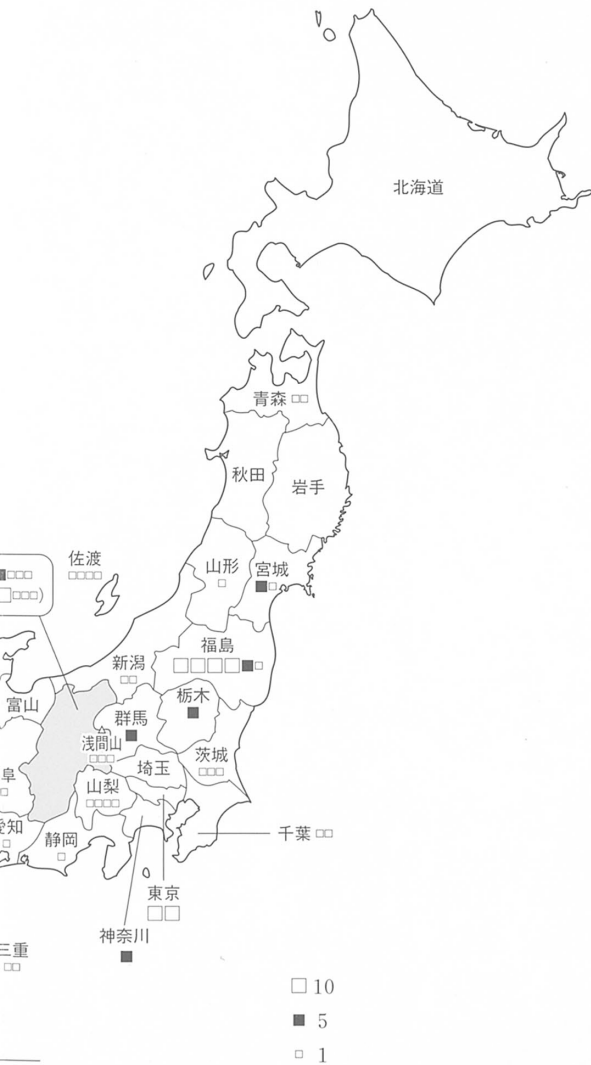
真田宝物館で収蔵している真田家伝来の大名道具に「貝類採集品」「貝類及び名所天産物採集品」というコレクションが二点あります。それぞれ、十一段と十三段の箱からなり、貝殻や押し花、小石や海草、そして化石など、実に多くの天産物がおさめられています。本号では、このうち「貝類及び名所天産物採集品」についてご紹介をしたいと思います。

「貝類及び名所天産物採集品」は、金で縁取られた十三段の黒漆塗りの箱からなります。各側面には「三花珠樹」「五雲閣」「海上雙飛」「白鶴来」の文字があり、蓋表には二羽の鶴が波間に舞う様子が蒔絵され、豪華なつくりになっています。

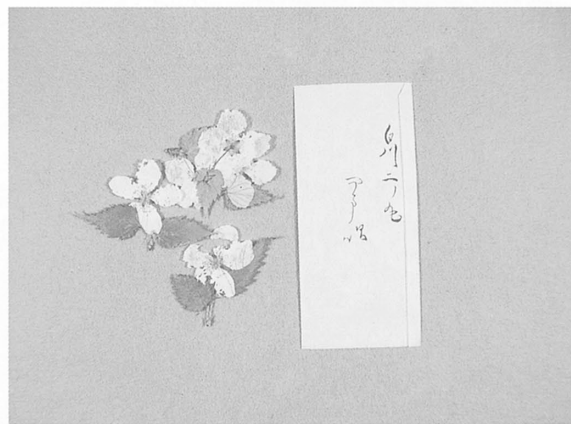
一から十段には、格子状の仕切りの中に貝殻がおさめられています。貝殻の下には色とりどりの綿が敷かれ、装飾性が高く美しいものとなっています。なかには貝殻の名前や産地が記された付箋も見られますが、本来の場所から移動しているものや、外れてしまったものも多くあります。

十一段、十二段には、押し花や小石といった多くの天産物がおさめられています。それらはすべて料紙に包まれ、「名所おし葉」「庭のおしばな」「名所石」など、いくつかのグループに分けられています。加えて、中の一点一点も、色和紙や刷り物の和紙で丁寧に包まれています。料紙には、「道中にて取候おし花」「紫宸殿 軒下之砂」というように、物の名前や産地、採集した場所や伝来経緯などの覚書があり、収集の様子が目に浮かぶようです。

これだけのコレクションを収集した人物は一体誰でしょうか。下図は、覚書のうち産地が判別できるものについて、その件数を地図上に集計したもので



「奥州岩城 尾濱石」



白川御庭 おし花
「白川二ノ丸 やま吹」

「貝類及び名所天産物採集品」の11段、12段におさめられた天産物のうち、料紙の
により産地が確認できるものについて、その件数を集計したものである。

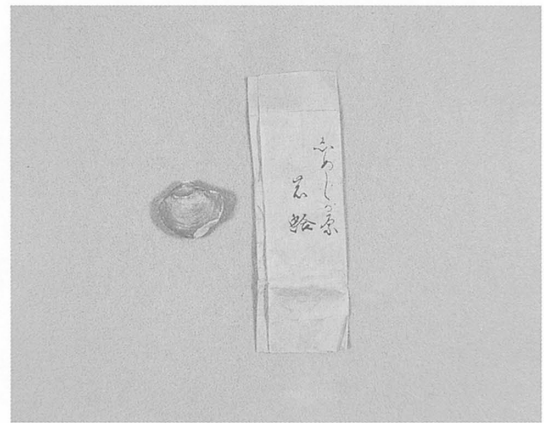
す。天産物の採集が全国各地、実に広範囲にわたっていることがわかります。一番多いのは福島で、ほとんどが白河に関するものでした。「白河名所押し葉」の包紙のなかには、「奥州白川小峯城 さくら」「白川二ノ丸 やま吹」と記されるものがあり、白河小峰城で採集されたものが確認できます。真田家では、六代藩主・真田幸弘（一七四〇～一八一五）の夫人・真松院が白河松平家から輿入れしており、八代藩主・真田幸貫（一七九一～一八五二）も同家から養子入りをしています。

天産物のなかには、「浅間 焼石」「浅間焼候 灰」など、天明三年（一七八三）の浅間山の大噴火のものがあります。また、芭蕉が娘捨の長楽寺を訪れた記念につくられた「芭蕉翁面影塚」についての文書もありました。これは明和六年（一七六九年）八月に、加舎白雄らによって建立されたものです。つまり、収集された時期はこれ以降ということになると考えられます。また、「飛騨守様より貫申候」「上野宮様江も献上申候所」「巳四月到来 松代名所おし花品々」という記述から、物を交換している様子うかがえます。自らの収集が困難な場合には、多くの人々との幅広いネットワークによってコレクションの充実をはかっていたのです。

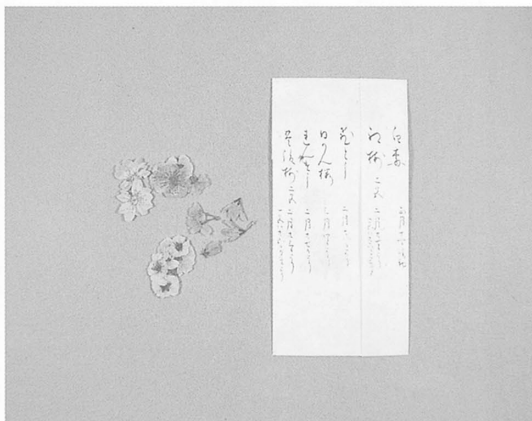
真田幸弘は寛政十年（一七九八）に隠居後、各地を旅していることで知られています。また、真田幸貫の道具類を記した道具帳には、貝類など採集品についての記述が確認されました。ただ、「化粧の間」の押し花や「貞寿より貫之」、「能書もいたし奥に遣候」という覚書からは女性の姿も想像されます。これだけのコレクションです。収集には多くの人が携わっている可能性もあるのではないのでしょうか。

〔貝類及び名所天産物採集品〕は六連銭第13号にも紹介されています。ご参照下さい。〕

（松下 愛）

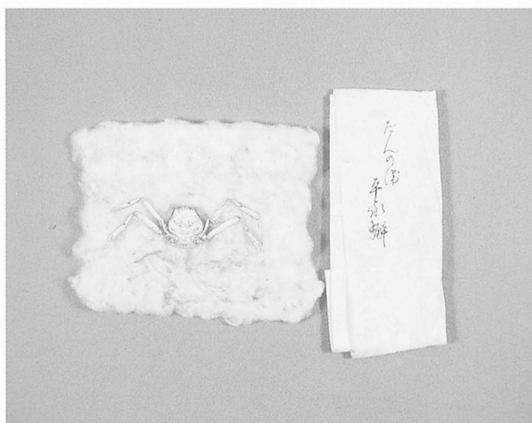


名所 おし葉
「しめじが原 岩蛤」

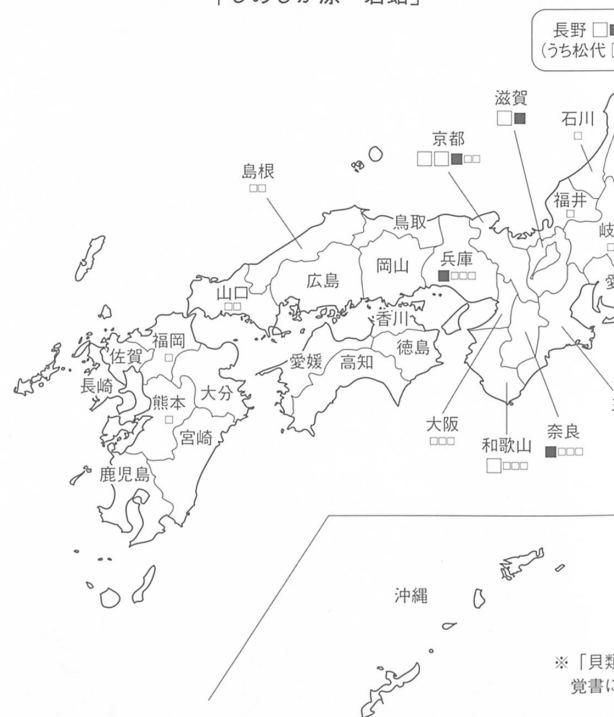


庭のおし花
「白梅
紅梅二色

正月十一日咲初
二月廿七日より
一色は廿六日夕方より（以下略）



「だんの浦 平家蟹」



※「貝類
覚書に

11段、12段におさめられた天産物の内容

下表は「貝類及び名所天産物採集品」の11段、12段におさめられた天産物を包紙ごと一覧にまとめたものである。包紙におさめられている物のうち、数点の覚書を紹介する。11段には142点、12段には203点、計345点がおさめられている。

11段	全48点	京都加茂の明神木の葉
「名所おし葉」		三河八ツ橋 杜若葉 しめじが原 岩給 高間が原之うめの 明神 まつ 丹波光明寺 円光大師 光明之松 出羽本城神軍 矢の根石 大坂の内 堺の濱貝 津の国 舞子の 濱石 宇治 黄蘗もく魚の木 白川甲子 木の飛石 佐渡の色石 石見国 倉利濱の石 伊賀保の もみち 箱根の苔 上州 榛名山の紅葉

「白河名所 押し葉」	全35点	白川二ノ丸清水井ノ内の葛 奥州白川旅宮二所ノ関 住吉明神九重ノ紅葉 鶴のい袋より出候石 丹後 金糸魚 奥州白川小峯城 さくら 奥州伊達郡 源義経笠松 字つのみや 十たんこ 忍ふ 貞寿より貰之
------------	------	--

「巳四月到来 松代名所 おし花品々」	全11点	池田宮のさわ すみれ 大日ちこの花ちりあと すなしのはな 清たきの山吹 清滝ハ別当所 たりに御座候 桃 むしうたの 観音 花
--------------------	------	--

「むさし 庭の おしはな 色、」	全21点	伊勢海 小貝 丹波 銀糸魚 もみち おし葉
------------------	------	--------------------------------------

「名所おし花」	全27点	栗から山さくら 左近桜 尾上之桐生之松 奥州白川 若宮之桜 義経母衣掛 紅葉 浅香山松の苔 京都三十三間堂の前 弘法大師堂 鳳凰竹 逢坂山のさねくら 高野 まん年草 白川旅宿 義経母衣掛紅葉
---------	------	--

計142点

12段	全62点	したれも、山桜 五本の内 おなじ花ゆえ おしろひのはな けせうの間 紅葉 三色 北の庭 若木匂ひ桜 すみれ 北の庭 白桃 二色 もものはな 三色 なのはな 北の庭 にはひさくら とらのお やうひき
-----	------	---

「白川御庭 おし花」	全26点	白川御庭ノ 八重桃 二ノ丸 五月廿日 紅葉 甲子山の紅葉 しら川 れんぼう寺桜 白川 杉山の 千本杉 白川関山ノ やま吹 すみれ もみち 忍草
------------	------	--

「名所石」	全7点	かまくら 鉄砂 信州 仁科 鬼の豆石
-------	-----	--------------------------

「道中にて取候 おし花」	全5点	ジングウ寺 小休にて取候 もみち 戸栗茶屋 さくら 小金井 昼休にて取候 庭之さくら
--------------	-----	---

「卅三所 おし葉」	全31点	紀州那智山 第一番 和州高市郡 東光山岡寺 七番 洛東 音羽山 清水寺 十六番 地主の桜 近江長命寺 柳 卅一番 美濃大野郡 谷汲山華嚴寺 卅三番
-----------	------	--

「江戸所々のおし花」	全18点	日暮のさくら 染井 唐楓 上野道照院庭の桜 紅葉 日くらのつつし 吉しやう寺 庭の花 テンゲン寺 庭の花 三月九日 せんふく寺 さかさ いてふ 東海寺 紅葉 二色 大江山もみち葉 どうたん躰躰 十月十一日
------------	------	--

ひとつずつの包紙におさめられている物	全54点	飛騨守様より貰申候 名産品之入 (中身なし) 越前国羽羽郡亀割弁慶 チカラモチ藤好四御前産之付 弁慶の長刀にて岩ヲツキ水ヲ出シ 水ニテ餅ヲツキ候間刀餅と云 清水の紅葉 六月廿二日貰候 信州 姨捨の石 浅間 焼石 軽井沢 根土 頼朝公 甲州矢立の杉 魔よけの守 浅間焼候 灰 おと姫の原まき 佐渡金山の石 常陸 筑波山大権現 御山の石 とちのは 京都 誓願寺 軒端桜木葉 たんのうら 平家蟹
--------------------	------	--

計203点